

月	Lesson 題材を通して 学ぶ内容	時間	Lesson CAN-DO スキル別単元目標 ★は各単元の重点指導スキル		主な学習活動							評価の観点 (Lesson CAN-DOに対応) ／○◎は主に指導するスキル、◎は単元内または後日記録に残す評価場面の例						
					コーナー	L	R	SI	SP	W	題材・場面・言語活動・言語材料	知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
4	Unit 1 Lesson 1 Laughter 【健康・科学】 笑うことに関する科学的知見について理解を深め、笑うことの効用や意義について考える。	8	[L] 笑いに関連する会話や説明を理解することができる。 [R] 笑いについての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。 [SI] 笑いに関連する話題についてやり取りすることができる。 [SP(★)]笑いに関する話題について情報や考えを論理的に話すことができる。 [W] 笑いは人を健康にするか否かについて考えを論理的に書くことができる。 [Target Task／SP(★)] 伝統的な日本のお笑いの一例について発表することができる。	導入	Warm-up	○		○	○		・ Aya と Jim の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 笑いに関連する写真について説明する。 ・ 笑いに関する体験についてやり取りする。				[L]/[R] 物事の説明に用いる現在形や、研究結果の説明に用いる過去形の働きを理解し、笑いに関して話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、笑いに関して話された文章の概要や要点、詳細を捉えている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、笑いに関して話された文章の概要や要点、詳細を捉えようとしている。	
				Part 1 3	Passage/New Words/Listening		○	○			Part 1: 笑いとは何かについて理解する。 Part 2: 笑いのポジティブな効果について理解する。 Part 3: 社会における笑いの役割について理解する。				[SI/SP] 物事の説明に用いる現在形や、研究結果の説明に用いる過去形の働きを理解し、笑いに関する話題について情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、笑いに関して書かれた文章の概要や要点、詳細を捉えている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、笑いに関して書かれた文章の概要や要点、詳細を捉えようとしている。	
					Key Ideas			○			・ 笑いについての説明文を読んで概要や要点を確認する。							
					The Gist				○		・ 笑いについての説明文の要約をキーワードを使って完成する。							
					Think and Talk					○	・ 笑いに関連する話題についてやり取りする。					[SI/SP] クラスメートや姉妹校の生徒にわかるように、笑いに関する日本の芸能文化について論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートや姉妹校の生徒にわかるように、笑いに関する日本の芸能文化について論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
				単元のまとめ活動	Comprehension Check		○	○		○	・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながら人物について説明する。		◎		[W] 物事の説明に用いる現在形や、研究結果の説明に用いる過去形の働きを理解し、笑いは人を健康にするか否かについて、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。	[W] クラスメートにわかるように、笑いは人を健康にするか否かについて考えを、「主題文＋支持文＋まとめの文」の枠組みを用いて論理的に書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、笑いは人を健康にするか否かについて考えを、「主題文＋指示文＋まとめの文」の枠組みを用いて論理的に書いて伝えている。	
					Share Your Thoughts					○	・ 笑いは人を健康にするか否かについて考えを論理的に書く。 ・ 笑いは人を健康にするか否かについてやり取りする。			◎				
					Language in Action						○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。		◎				
					Next Step						○	◎				[SP★] 姉妹校の生徒に、伝統的な日本のお笑いの一例を口頭で紹介する場面で、相手が具体的なイメージを持てるように、必要な情報を取捨選択して示しながら説明することができる。 [ルーブリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]	[SP★] 姉妹校の生徒に、伝統的な日本のお笑いの一例を口頭で紹介する場面で、相手が具体的なイメージを持てるように、必要な情報を取捨選択して示しながら説明しようとしている。 [ルーブリック評価の観点例: 説明に必要な情報量の適切さ（第1文で何について説明するかを紹介し、それについて3項目の説明があればbとする。説明がより詳細にわたっていればaとする。）]	[SP★] 姉妹校の生徒に、伝統的な日本のお笑いの一例を口頭で紹介する場面で、相手が具体的なイメージを持てるように、必要な情報を取捨選択して示しながら説明しようとしている。 [ルーブリック評価の観点例: キーワードを強調するなどの、わかりやすく説明しようとする態度]
					Check Your Progress							・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。				◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SP)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができていくかどうかを評価する。	

5	Unit 1 Lesson 2 A Black and White Beauty 【動物・環境】	8	パンダの生態や保護活動について理解を深め、動物や自然環境の保護について考える。	[L] 動物についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○		○	○		・ Yui と Jim の会話を聞いて内容を理解する。 ・ パンダに関連する写真について説明する。 ・ パンダに関する体験についてやり取りする。				[L]/[R] 現状を説明する現在形、過去の出来事を説明する過去形、これまでの経緯を説明する現在完了形などの働きを理解し、動物や動物保護に関して話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめるために、動物や動物保護に関して話された文章の概要や要点、詳細を捉えている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめるために、動物や動物保護に関して話された文章の概要や要点、詳細を捉えようとしている。
				[R(★)] 動物についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。		Passage/New Words/Listening	○	○				Part 1: パンダという動物について理解する。 Part 2: パンダの生活について理解する。 Part 3: 絶滅の危機にあるパンダを保護する取り組みについて理解する。					[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめるために、動物や動物保護に関して書かれた文章の概要や要点、詳細を捉えている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめるために、動物や動物保護に関して書かれた文章の概要や要点、詳細を捉えようとしている。
				[SI] 動物や動物保護に関連する話題についてやり取りすることができる。		1 3 Key Ideas		○				・ パンダについての説明文を読んで概要や要点を確認する。				[SI/SP] 現状を説明する現在形、過去の出来事を説明する過去形、これまでの経緯を説明する現在完了形などの働きを理解し、動物や動物保護に関する話題について情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。		
				[SP] 動物や動物保護について情報や考えを論理的に話すことができる。		The Gist		○				・ パンダについての説明文の要約をキーワードを使って完成する。					[SI/SP] クラスメートや姉妹校の生徒にわかるように、動物や動物保護について論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートや姉妹校の生徒にわかるように、動物や動物保護について論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。
				[W] 地球温暖化が動物に与える影響について情報や考えを論理的に書くことができる。		Think and Talk			○			・ パンダに関連する話題についてやり取りする。						
				[Target Task/R(★)] 動物に関する記事を読みディスカッションの準備として要点を整理することができる。	単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながらパンダについて説明する。	◎					
						Share Your Thoughts				○	○	・ 地球温暖化がパンダに与える影響について情報や考えを論理的に書く。 ・ 地球温暖化がパンダに与える影響についてやり取りする。		◎		[W] 現状を説明する現在形、過去の出来事を説明する過去形、これまでの経緯を説明する現在完了形などの働きを理解し、環境が動物に与える影響について、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。	[W] クラスメートや姉妹校の生徒にわかるように、環境が動物に与える影響について、「主題文＋支持文＋まとめの文」の枠組みを用いて考えを論理的に書いて伝えている。	[W] クラスメートや姉妹校の生徒にわかるように、環境が動物に与える影響について、「主題文＋支持文＋まとめの文」の枠組みを用いて考えを論理的に書いて伝えようとしている。
						Language in Action					○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。	◎					
						Next Step	○	◎				・ 姉妹校の生徒と外来種が環境に与える影響について意見交換する場で、姉妹校による今回の研究プロジェクトのアナウンスを聞いて、内容を理解する。 ・ 姉妹校の生徒と外来種が環境に与える影響について行う研究プロジェクトの一環として、異なる立場から書かれた2つの記事（論考）を読み要点を整理する。	◎	◎	◎	[R★] 現状を説明する現在形、過去の出来事を説明する過去形、これまでの経緯を説明する現在完了形や、既習の表現・文法知識を活用して、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 [テストによる評価の観点例: 単文レベルの読み取りにおける語彙・文構造などの的確な理解]	[R★] 研究プロジェクトの一環として情報を得るために、異なる立場から書かれた同じ話題についての2つの記事（論考）を読み要点を整理している。	[R★] 研究プロジェクトの一環として情報を得るために、異なる立場から書かれた同じ話題についての2つの記事（論考）を読み要点を整理しようとしている。
						Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		

6	Unit 1 Lesson 3 Water 【環境・生活】	8	水の大切さについて理解を深め、水不足問題の解決策について考える。	[L] 水の大切さについての会話や説明を理解することができる。	[R] 水の大切さについての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。	[SI(★)] 水の大切さに関連する話題についてやり取りすることができる。	[SP] 水の大切さについて情報や考えを論理的に話すことができる。	[W] 人々が水の危機について認識しているか否かについて考えを論理的に書くことができる。	[Target Task／SI(★)] 日常的にできる節水の工夫についてやり取りすることができる。	導入	Warm-up	○		○	○		・ Aya と先生の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 水や水不足に関連する写真について説明する。 ・ 水と自分との関わりに関する体験についてやり取りする。				[L]/[R] 日常的な習慣を表す現在形や、数値や割合を習わず表現の働きを理解し、水や水不足に関して話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、水や水不足に関して話された文章の概要や要点、詳細を捉えている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、水や水不足に関して話された文章の概要や要点、詳細を捉えようとしている。	
										Part 1 3	Passage/New Words/Listening	○	○				Part 1: 水が限られた資源であることについて理解する。 Part 2: 水の危機の現状について理解する。 Part 3: 水資源の活用や節水への取り組みについて理解する。				[SI/SP] 日常的な習慣を表す現在形や、数値や割合を習わず表現の働きを理解し、水や水不足に関する話題について情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、水や水不足に関して書かれた文章の概要や要点、詳細を捉えている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、水や水不足に関して書かれた文章の概要や要点、詳細を捉えようとしている。	
											Key Ideas			○			・ 水や水不足についての説明文を読んで概要や要点を確認する。							
											The Gist			○			・ 水や水不足についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。							
											Think and Talk				○		・ 水や水不足に関連する話題についてやり取りする。							
										単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながら水や水不足について説明する。	◎				[W] 日常的な習慣を表す現在形や、数値や割合を習わず表現の働きを理解し、人が水の危機について認識しているか否かについて、自分の考えを書いて伝える技能を身に付けている。	[W] 国際交流イベントなどを想定した場面で、相手にわかるように、水や水不足について論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[W] 国際交流イベントなどを想定した場面で、相手にわかるように、水や水不足について論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしたりしている。
											Share Your Thoughts				○	○	・ 人々が水の危機について認識しているか否かについて情報や考えを論理的に書く。 ・ 人々が水の危機について認識しているか否かについてやり取りする。		◎					
											Language in Action					○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。	◎						
											Next Step	○				◎	・ 国際交流イベントで、水不足対策について意見交換する場面で、意見交換イベント議長のアナウンスを聞いて、内容を理解する。 ・ クラスで発表するための準備として、日常生活でどのように水を節約できるかについて、クラスメートとやり取りする。	◎	◎	◎	[SI★] 日常的な習慣を表す現在形や、既習の表現・文法知識を活用して、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝える技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]	[SI★] 国際交流イベントでの発表の情報収集のために、日常生活でどのように水を節約できるかについて、クラスメートとやり取りしている。 [ルーブリック評価の観点例: ターンテイキングの回数とメモした情報の項目数／2 つが b 評価]	[SI★] 国際交流イベントでの発表の情報収集のために、日常生活でどのように水を節約できるかについて、クラスメートとやり取りしている。 [ルーブリック評価の観点例: お互いに理解を確認し合うなどの、主体的にやり取りに取り組む態度]	
											Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。				◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SI)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		

7	Unit 1 Lesson 4 Coffee Travels the World 【食文化・歴史】	8	<p>[L(★)] コーヒーについての会話や説明を理解することができる。</p> <p>[R] コーヒーについての英文の概要や要点，詳細を理解することができる。</p> <p>[SI] コーヒーやフェアトレードに関連する話題についてやり取りすることができる。</p> <p>[SP] コーヒーやフェアトレードについて情報や考えを論理的に話すことができる。</p> <p>[W] フェアトレード製品について具体例をあげながら論理的に書くことができる。</p> <p>[Target Task/L(★)] インタビューを聞いてディスカッションの準備として要点を整理することができる。</p>	導入	Warm-up	○		○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ryo と先生の会話を聞いて内容を理解する。 ・ コーヒーに関連する写真について説明する。 ・ コーヒーに関する習慣についてやり取りする。 				[L]/[R] 歴史を伝える過去形、現状を伝える現在形、最近の傾向を伝える現在完了形などの働きを理解し、コーヒーについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、コーヒーについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、コーヒーについて話された文章の概要や要点を捉えている。
					Passage/New Words/Listening	○	○			Part 1: コーヒーの歴史について理解する。 Part 2: コーヒーの特徴について理解する。 Part 3: コーヒーをとりまく経済的状況とフェアトレードの取り組みについて理解する。				[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、コーヒーについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、コーヒーについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、コーヒーについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。
					Part 1 3 Key Ideas			○		・ コーヒーとフェアトレードについての説明文を読んで概要や要点を確認する。				[SI/SP] 歴史を伝える過去形、現状を伝える現在形、最近の傾向を伝える現在完了形などの働きを理解し、コーヒーについて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] オンラインのやり取りで相手によくわかるように、コーヒーやフェアトレードについて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] オンラインのやり取りで相手によくわかるように、コーヒーやフェアトレードについて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。
					The Gist			○		・ コーヒーとフェアトレードの説明文の要約をキーワードを使って完成する。				[W] クラスメートにわかるように、フェアトレード製品について具体例をあげながら、「主論文+支持文+まとめの文」の枠組みを用いて考えを論理的に書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、フェアトレード製品について具体例をあげながら、「主論文+支持文+まとめの文」の枠組みを用いて考えを論理的に書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、フェアトレード製品について具体例をあげながら、「主論文+支持文+まとめの文」の枠組みを用いて考えを論理的に書いて伝えている。
					Think and Talk				○	・ コーヒーとフェアトレードに関連する話題についてやり取りする。				[W] 歴史を伝える過去形、現状を伝える現在形、最近の傾向を伝える現在完了形などの働きを理解し、フェアトレード製品の例について適切に書いて伝える技能を身に付けている。		
					Comprehension Check	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながらコーヒーとフェアトレードについて説明する。 	◎					
					Share Your Thoughts				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ フェアトレード製品について具体例を挙げながら論理的に書く。 ・ コーヒーやフェアトレードについてやり取りする。 		◎				
					Language in Action				○	<ul style="list-style-type: none"> ・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。 	◎					
					Next Step					<ul style="list-style-type: none"> ・ 海外の高校生と身近なものの由来についてオンラインで話し合う場で、ある学校の発表を聞いて内容を理解する。 ・ ディスカッションの論点を整理するために、コーヒー農園主へのインタビューを聞いてその内容を整理する。 	◎	◎	◎	[L★] 現状を説明する現在形、過去の出来事を説明する過去形、これまでの経緯を説明する現在完了形や、既習の表現・文法知識を活用して、英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。 [テストによる評価の観点例: 単文レベルの聞き取りにおける 語彙・文構造などの的確な理解]	[L★] オンラインディスカッションの一環として情報を得るために、コーヒー農園主へのインタビューを聞き要点を整理している。 [テストによる評価の観点例: グラフィックオーガナイザーの空所補充による完成/正答数により評価]	[L★] オンラインディスカッションの一環として情報を得るために、コーヒー農園主へのインタビューを聞き要点を整理しようとしている。 [テストによる評価の観点例: 主体的に英文を聞こうとする態度/主体的に考え空所を埋めている]
					Check Your Progress					<ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。 			◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading) については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (L) の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		

第1学期の評価（中間考査・期末考査・パフォーマンス評価）						知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中間・期末考査	◎						◎			短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。	
		◎				◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
		◎					◎			英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・詳細・論理構成を読み取っている。	
					◎		◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。
パフォーマンステスト （中間・期末考査の前後もしくは別の時期に実施）			◎				◎	◎		与えられた課題に対して自分の考えや気持ちを明確に述べ、追加の説明をしている。	お互いに協力しながら1分以上やりとりを発展させている。
小テスト					◎		◎		目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
課題・提出物	◎						◎	◎		与えられたリスニング課題に対して、概要や要点を適切に捉えて情報を整理している。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。

9	Lesson 5 From Homeless to Harvard 【人間・ドラマ】	8	[L] 進路設計に関連する会話や話を理解することができる。 [R] 実話に基づく記事について、話の展開や書き手の意図を理解することができる。 [SI] 努力や意志力に関連する話題についてやり取りすることができる。 [SP] 実話に基づく記事について情報や考えを論理的に話すことができる。 [W(★)] 大学に行く意義について意見を論理的に書くことができる。 [Target Task/W(★)] 将来就きたい職業についてその理由とこれからすべき準備を交えて書くことができる。	導入	Warm-up	○		○	○	・ Jimと母親の会話を聞いて内容を理解する。 ・ リズ・マレーに関連する写真について説明する。 ・ 自分が体験した困難についてやり取りする。				[L]/[R] 人間の経験や行動を表現するさまざまな語彙や文構造の働きを理解し、人間の困難克服について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人間の困難克服について話された文章の概要や要点を捉えている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人間の困難克服について書かれた文章の概要や要点を捉えている。 [SI/SP] 人間の経験や行動を表現するさまざまな語彙や文構造の働きを理解し、人間の困難克服に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、人間の困難克服について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。 [R] 読んだ内容について書いてまとめるために、人間の困難克服について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。 [SI/SP] 留学先の高校生にわかるように、人間の困難克服について、これまでに学んだ語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	
				Part 1 3	Passage/New Words/Listening	○	○			Part 1: リズ・マレーの幼少期の困難について理解する。 Part 2: リズ・マレーの学校への復帰の努力について理解する。 Part 3: リズ・マレーが大学に合格し人生が変化したことについて理解する。				[SI/SP] 人間の経験や行動を表現するさまざまな語彙や文構造の働きを理解し、人間の困難克服に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[W] 人間の経験や行動を表現するさまざまな語彙や文構造の働きを理解し、自分が将来就きたい職業やそのための準備について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[W] 留学先の高校生にわかるように自分が将来就きたい職業やそのための準備について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理的に書いて伝えている。	[W] 留学先の高校生にわかるように自分が将来就きたい職業やそのための準備について、情報や考え、気持ちなどを、これまでに学んだ語句や文を用いて、論理的に書いて伝えようとしている。
					Key Ideas		○			・ リズ・マレーの体験についての英文を読んで概要や要点を確認する。							
					The Gist		○			・ リズ・マレーの体験についての英文の要約をキーワードを使って完成する。							
					Think and Talk			○		・ 努力や意志力に関連する話題についてやり取りする。							
				単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		○	・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・ 絵や写真を見せながらリズ・マレーの困難克服の軌跡を説明する。	◎						
					Share Your Thoughts			○	○	・ 大学に行く意義について意見を論理的に書く。 ・ 大学に行く意義についてやり取りする。			◎				
					Language in Action				○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。	◎						
					Next Step	○				◎	◎	◎	◎	[W★] 人間の経験や行動を表現するさまざまな語彙や文構造を活用して、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]	[W★] 留学先の課題作文に取り組む場で、将来就きたい職業やそのために必要な準備について、論理的に書いている。 [ルーブリック評価の観点例: ①なりたい職業とそのきっかけ ②その職業に就きたい理由 ③その職業に就くために必要な準備 の3要素がそれぞれ複数文で書かれていれば b、記述が理路整然としていれば a とする。]	[W★] 留学先の課題作文に取り組む場で、将来就きたい職業やそのために必要な準備について、論理的に書こうとしている。 [ルーブリック評価の観点例: 思考・判断・表現の評価と連動して評価する。分量は書いてあるが理解しにくい英文であった場合には、思・判・表が c でも b とする。]	
					Check Your Progress					・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。				◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		

10	Unit 2 Lesson 6 Smartphones 【IT・健康】	8	[L] スマートフォンについての会話や説明を理解することができる。 [R] スマートフォンについての英文の概要や要点，詳細を理解することができる。 [SI(★)] スマートフォンに関連する話題についてやり取りする。 [SP] スマートフォンの有効活用について自分の考えを論理的に話す。 [W] スマートフォンの有効活用について自分の考えを論理的に書く。 [Target Task／SI(★)] オンラインディスカッションの準備としてスマートフォンの活用法についてやり取りすることができる。	導入	Warm-up	○		○			・ Jimと父親の会話を聞いて内容を理解する。 ・ スマートフォンに関する自分の意見についてやり取りする。				[L]/[R] ITや健康に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、スマートフォンについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめるために、スマートフォンについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめるために、スマートフォンについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
				本文	Passage/New Words/Listening	○	○				Paragraph 1-4：スマートフォンの依存性の高さについて理解する。 Paragraph 5-8：ドーバミンとスマートフォンの使用が与える影響について理解する。 Paragraph 9-13：スマートフォンの賢い利用について理解する。				[SI/SP] ITや健康に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、スマートフォンについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめるために、スマートフォンについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめるために、スマートフォンについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。
					Key Ideas			○			・ スマートフォンについての英文を読んで概要や要点を確認する。						
					Think and Talk				○		・ スマートフォンに関連した話題についてやり取りする。						
				単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○				・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ 3 択問題で内容を確認する。 ・ 要約英文への空所補充で内容を確認する。	◎			[W] ITや健康に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、スマートフォンに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、スマートフォンに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、スマートフォンに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。
					Language in Action					○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。 ・ 正しい文構造を用いることについての意識を高める。	◎					
					Share Your Thoughts					○	・ スマートフォンの有効活用について自分の考えを論理的に書く。 ・ スマートフォンの有効活用についての自分の意見を論理的に話す。		◎				
					Next Step	○				◎	・ 姉妹校とのオンラインディスカッションに関するアナウンスを聞いてその内容を理解する。 ・ オンラインディスカッションの準備として、クラスメートとスマートフォンの使い方について話し合う。	◎	◎	◎	[SI★] ITや健康に関する概念を表す語彙や表現を活用して、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝える技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]	[SI★] 姉妹校とのオンラインディスカッションの準備として、スマートフォンの使い方について、クラスメートとやり取りしている。 [ルーブリック評価の観点例: ターンテイキングの回数とメモした情報の項目数／2 つが b 評価]	[SI★] 姉妹校とのオンラインディスカッションの準備として、スマートフォンの使い方について、クラスメートとやり取りしようとしている。 [ルーブリック評価の観点例: お互いに理解を確認し合うなどの、主体的にやり取りに取り組む態度]
					Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SI)の評価は、後日パフォーマンス評価 (一人 1 分程度) で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができていのかどうかを評価する。		

11	Unit 2 Lesson 7 Personal Space 【心理・コミュニケーション】 パーソナルスペースについて理解を深め、その知見の日常生活への応用について考える。	8	<p>[L] パーソナルスペースについての会話や説明を理解することができる。</p> <p>[R] パーソナルスペースについての英文の概要や要点，詳細を理解することができる。</p> <p>[SI] パーソナルスペースに関連する話題についてやり取りすることができる。</p> <p>[SP(★)] パーソナルスペースについて自分の考えを体験に基づき論理的に話すことができる。</p> <p>[W] パーソナルスペースについて自分の考えを体験に基づき論理的に書くことができる。</p> <p>[Target Task/SP(★)] パーソナルスペースが侵害された経験について発表することができる。</p>	導入	Warm-up	○	○		・ JimとAyaの会話を聞いて内容を理解する。 ・ パーソナルスペースに関する自分の意見についてやり取りする。			[L]/[R] 心理やコミュニケーションに関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、パーソナルスペースについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。			[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、パーソナルスペースについて話された文章の概要や要点を捉えている。			[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、パーソナルスペースについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				本文	Passage/New Words/Listening	○	○		paragraph 1-4：パーソナルスペースの概念について理解する。 Paragraph 5-8：パーソナルスペースを守ることに理解する。 Paragraph 9-12：パーソナルスペースの文化の差について理解する。			[SI/SP] 心理やコミュニケーションに関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、パーソナルスペースについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。			[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、パーソナルスペースについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。			[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、パーソナルスペースについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
					Key Ideas		○		・ パーソナルスペースについての英文を読んで概要や要点を確認する。										
					Think and Talk			○	・ パーソナルスペースに関連した話題についてやり取りする。										
				単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ 3択問題で内容を確認する。 ・ 要約英文への空所補充で内容を確認する。	◎		[W] 心理やコミュニケーションに関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、パーソナルスペースについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。			[SI/SP] クラスメートにわかるように、パーソナルスペースに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。			[SI/SP] クラスメートにわかるように、パーソナルスペースに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
					Language in Action			○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。 ・ 正しい文構造を用いることについての意識を高める。	◎					[W] 読み手に理解してもらえるように、パーソナルスペースについて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に書いて伝えている。			[W] 読み手に理解してもらえるように、パーソナルスペースについて、情報や考え、気持ちなどを、論理的に書いて伝えようとしている。	
					Share Your Thoughts			○	・ パーソナルスペースについて自分の考えを体験に基づき論理的に書く。 ・ パーソナルスペースについて自分の考えを体験に基づき話す。		◎								
					Next Step	○		◎	・ 姉妹校で交換留学生として学んでいるという想定の中で、先生の講義を聞いて内容を整理しながらメモする。 ・ 他の生徒との情報交換の一環として、自分のパーソナルスペースが侵害された経験について発表する。	◎	◎	◎	[SP★] 心理やコミュニケーションに関する概念を表す語彙や表現を活用して、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝える技能を身に付けている。 [ループリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]			[SP★] 交換留学先の学校で学んでいるという想定の中で、聞き手にわかるように、自分のパーソナルスペースが侵害された経験について発表している。 [ループリック評価の観点例： 複数の例を挙げながら自分の経験を語っている。（例が2つ挙げたればbとする。説明が細部にわたっていればaとする。）]			[SP★] 交換留学先の学校で学んでいるという想定の中で、聞き手にわかるように、自分のパーソナルスペースが侵害された経験について発表しようとしている。 [ループリック評価の観点例： キーワードを強調するなど相手にわかるように話そうとしている]
					Check Your Progress				・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SP)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。（Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。						

11・12	Unit 2 Lesson 8 What is Money? 【異文化理解・歴史】	8	人間とお金の関係について理解を深め、両者の関係のあり方について考える。	[L(★)] お金についての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○	○			・ RyoとJimの会話を聞いて内容を理解する。 ・ お金に関する自分の意見についてやり取りする。				[L]/[R] 人間の歴史や文化に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、お金に関する話題について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、お金に関する話題について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について話したり書いてまとめたりするために、お金に関する話題について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				[R] お金の役割についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。	本文	Passage/New Words/Listening	○	○			Paragraph 1-5：お金の歴史について理解する。 Paragraph 6-10：お金にまつわる各国の文化について理解する。 Paragraph 11-16：お金の時代に伴う変化について理解する。				[SI/SP] 人間の歴史や文化に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、お金に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、お金に関する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について話したり書いてまとめたりするために、お金に関する話題について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				[SI] お金に関連する話題についてやり取りすることができる。		Key Ideas		○			・ お金についての英文を読んで概要や要点を確認する。							
				[SP] 電子マネーの利点と欠点について論理的に話すことができる。		Think and Talk			○		・ お金に関連した話題についてやり取りする。							
				[W] 電子マネーの利点と欠点について論理的に書くことができる。	単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○			・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ 3 択問題で内容を確認する。 ・ 要約英文への空所補充で内容を確認する。	◎			[W] 人間の歴史や文化に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、お金に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、お金に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、お金に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
				[Target Task/L(★)] 講義を聞いてディスカッションの準備として要点を整理することができる。		Language in Action				○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。 ・ 正しい文構造を用いることについての意識を高める。	◎				[W] 読み手に理解してもらえるように、お金に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に書いて伝えている。		[W] 読み手に理解してもらえるように、お金に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に書いて伝えようとしている。
						Share Your Thoughts				○	○	・ 電子マネーの利点と欠点について論理的に書く。 ・ 電子マネーの利点と欠点について論理的に話す。		◎				
						Next Step	◎		○		・ 国際交流イベントで、幸せとは何かについて交換留学生と話し合うにあたって、担当の先生からのアナウンスを聞いて、内容を理解する。 ・ お金で幸せを買い取るかに関する2つの異なる意見を聞いて、論点を整理しながらメモする。 ・ メモした内容に基づきクラスメートと意見交換をする。	◎	◎	◎	[L★] 人間の歴史や文化に関する概念を表す語彙や表現を活用して、与えられたトピックについて、英文の内容を聞き取る技能を身に付けている。 [テストによる評価の観点例： 単文レベルの聞き取りにおける語彙・文構造などの的確な理解]	[L★] ディスカッションの準備の一環として幸せについての2つの意見を聞き、要点を整理している。 [ルーブリック評価の観点例： 発言内容とトピックとの整合性、及び相手の発言に対する反応の適切さ]	[L★] ディスカッションの準備の一環として幸せについての2つの意見を聞き、要点を整理しようとしている。 [ルーブリック評価の観点例： 会話を続けようとする積極的態度]	
						Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading) については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。 本単元の重点指導スキル (L) の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。本単元の重点指導スキル (L) の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		

	第2学期の評価（中間考査・期末考査・パフォーマンス評価）						知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
中間・期末考査	◎					リスニング問題（概要・要点・意図）		◎			短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。	
		◎				リーディング問題（語彙・文法）	◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
		◎				リーディング問題（概要・要点・意図・詳細・論理構成）		◎			英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・詳細・論理構成を読み取っている。	
					◎	課題作文問題		◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	目安として提示された分量の英文を書いている。
パフォーマンステスト （中間・期末考査の前後もしくは別の時期に実施）						英語の学習法でうまくいった経験を2つ、1分間で発表する。 （L7のゴールタスクの応用）		◎	◎		与えられた課題に対して自分の考えや気持ちを明確に述べている。	1分間聞き手にわかるように、ほとんどメモに頼らず発表しようとしている。
小テスト						場面に応じた会話完成問題 単文レベルの英作文問題	◎			目的・場面・状況に応じた語彙・文法・文構造の使い方を理解している。		
課題・提出物						パフォーマンステストの振り返りシート： 英語の学習法でうまくいった経験を2つ、1分間で発表するテストを受けた直後に、振り返りシートに自己のパフォーマンスの自己評価と今後に向けての努力目標を記入して提出する。			◎			自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら今後の学習に向けての見通しを立てている。

1	Unit 2 Lesson 9 Buyology 【心理・メディア】	8	ニューロマーケティングについて理解を深め、人間の購買行動について考える。	[L] ニューロマーケティングについての会話や説明を理解することができる。	導入	Warm-up	○	○		・ JimとYuiの会話を聞いて内容を理解する。 ・ 買い物に関する自分の体験についてやり取りする。				[L]/[R] 人間心理やメディアに関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、ニューロマーケティングについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ニューロマーケティングについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ニューロマーケティングについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				[R] ニューロマーケティングについての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。	本文	Passage/New Words/Listening	○	○		Paragraph 1-4：ニューロマーケティングについて理解する。 Paragraph 5-8：ミラーニューロンの働きについて理解する。 Paragraph 9-12：潜在意識と人々の購買行動について理解する。				[SI/SP] 人間心理やメディアに関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、ニューロマーケティングについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ニューロマーケティングについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ニューロマーケティングについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				[SI] 人の購買の習慣や行動に関連する話題についてやり取りすることができる。		Key Ideas		○		・ ニューロマーケティングについての英文を読んで概要や要点を確認する。							
				[SP] 何かを買う際に自分の決断に影響する要素について論理的に話すことができる。		Think and Talk			○	・ ニューロマーケティングに関連した話題についてやり取りする。							
				[W] 何かを買う際に自分の決断に影響する要素について論理的に書くことができる。	単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ 3 択問題で内容を確認する。 ・ 要約英文への空所補充で内容を確認する。	◎			[W] 人間心理やメディアに関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、ニューロマーケティングについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、ニューロマーケティングに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、ニューロマーケティングに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝えたりしようとしている。	
				[Target Task／W(★)] 人は物を買う際に、宣伝に影響されるかどうかについて、自分の意見を論理的に書くことができる。		Language in Action				○	・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。 ・ 正しい文構造を用いることについての意識を高める。	◎				[W] 読み手に理解してもらえるように、ニューロマーケティングに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に書いて伝えている。	[W] 読み手に理解してもらえるように、ニューロマーケティングに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に書いて伝えようとしている。
						Share Your Thoughts					○	○		◎			
						Next Step		○				◎	◎	◎	[W★] これまで学んだ語彙や文法を活用して、与えられたトピックについて、主張を適切に書いて伝える技能を身に付けている。 [ルーブリック評価の観点例: 語彙・文構造などの適切な使用]	[W★] 人は物を買う際に、自分の判断で買うのか宣伝広告に影響されて買うのかについて、自分の意見を論理的に書いている。 [ルーブリック評価の観点例：いずれかの立場を明確にして、理由や実例を2つ示していれば b、理由や実例が細部にわたって説明されていれば a とする。]	[W★] 人は物を買う際に、自分の判断で買うのか宣伝広告に影響されて買うのかについて、自分の意見を論理的に書こうとしている。 [ルーブリック評価の観点例：思考・判断・表現の評価と運動して評価する。分量は書いてあるが理解しにくい英文であった場合には、思・判・表が c でも b とする。]
						Check Your Progress									◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。	

2	Unit 2 Lesson 10 Mars 【宇宙・科学】	8	[L] 宇宙探査に関連する会話や説明を理解することができる。 [R] 火星探査についての英文の概要や要点、詳細を理解することができる。 [SI(★)] 宇宙と人間に関連する話題についてやり取りする。 [SP] 宇宙探査について賛否の立場を明確にして自分の意見を論理的に話す。 [W] 宇宙探査について賛否の立場を明確にして自分の意見を論理的に書く。 [Target Task/R(★)] 宇宙探査に関する記事を読みプレゼンテーションの準備として要点を図解することができる。	導入	Warm-up	○	○		・ Aya と Jim の会話を聞いて内容を理解する。 ・ 火星や宇宙に関する話題についてやり取りする。			[L]/[R] 宇宙や科学に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、火星探査について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、火星探査について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、火星探査について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。			
				本文	Passage/New Words/Listening	○	○		Paragraph 1-5：火星探査の現状を理解する。 Paragraph 6-10：火星探査のこれまでの経緯を理解する。 Paragraph 11-15：火星や宇宙探査の可能性と課題について理解する。			[SI/SP] 宇宙や科学に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、宇宙と人間に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、火星探査について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、火星探査について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。			
					Key Ideas			○	・ 火星や宇宙探査についての英文を読んで概要や要点を確認する。				[SI/SP] クラスメートにわかるように、宇宙と人間に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、宇宙と人間に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、論理的に話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。			
					Think and Talk			○	・ 火星や宇宙探査に関連した話題についてやり取りする。								
				単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○		・ リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・ 3 択問題で内容を確認する。 ・ 要約英文への空所補充で内容を確認する。	◎		[W] 宇宙や科学に関する概念を表す語彙や表現の使い方を理解し、宇宙探査に関連する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりしている。					
					Language in Action				・ 活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・ 正しい品詞を用いることについての意識を高める。 ・ 正しい文構造を用いることについての意識を高める。	◎							
					Share Your Thoughts				○	○	・ 宇宙探査と人間との関わりや、その必要性について意見を論理的に書く。 ・ 宇宙探査と人間との関わりや、その必要性について自分の意見を論理的に話す。		◎				
					Next Step	○	◎		・ 姉妹校で交換留学生として学んでいるという想定で場面、先生の話を聞いて宿題の内容を整理しながらメモする。 ・ 宇宙探査に関する記事を読み、プレゼンテーションの準備として要点を図解する。	◎	◎	◎	[R★] 宇宙や科学に関する概念を表す語彙や表現を活用して、英文の内容を読み取る技能を身に付けている。 [テストによる評価の観点例： 単文レベルの読み取りにおける語彙・文構造などの的確な理解]	[R★] 宇宙探査に関する記事を読み、プレゼンテーションの準備として要点を図解している。 [テストによる評価の観点例： グラフィックオーガナイザーの空所補充による完成／正答数により評価]	[R★] 宇宙探査に関する記事を読み、プレゼンテーションの準備として要点を図解しようとしている。 [テストによる評価の観点例： 主体的に英文を読もうとする態度／主体的に考え空所を埋めている]		
					Check Your Progress						・ 自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎	[備考] 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R) の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		

	第3学期の評価 （学年末考											知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	学年末考査															短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。	
	パフォーマンステスト （実施しない）																
	小テスト																
	課題・提出物																自らの学びのプロセスを自己認識し、卒業後の英語との関わりについて主体的に考え、見通しを持とうとしている。